

小中一貫教育推進の3視点

9年間を貫く小中一貫教育。推進に向けた具体方策として、①対話と協働による学びの充実、②自治的・創造的な活動の充実、③すべての子どもを包み込む居心地のよい学校づくりの3視点を教育ビジョンに示しました。今月号からこの3つの視点について、全3回でお伝えします。

「対話と協働」の学びとは？

「対話と協働」の学びが意味するところは、教師主導で進められる授業のあり方から、子ども同士が互いに学び合う場面を取り入れた学びへと変換し、授業改善をはかっていくことです。

【これまで】教師主導の一斉授業が中心。教師が主導し、子どもは教師の指示により、聞かれたことに答えたりノートを取ったりする受け身の授業。

【これから】ペアや小グループ等で、子ども同士が学び合う場面を学びの中心に位置づける。課題解決に向け、主体的に子ども同士で考えを交流し合い、解決策を見出していく授業。

「対話と協働」の学びのよさは、ペアやグループで学んでいるため、困ったときはいつでも相談できるという安心感があります。このような「一人も独りにしない学び」を目指して、各校で取組みを始めています。その取組みの一部を紹介します。

①中学校「数学」

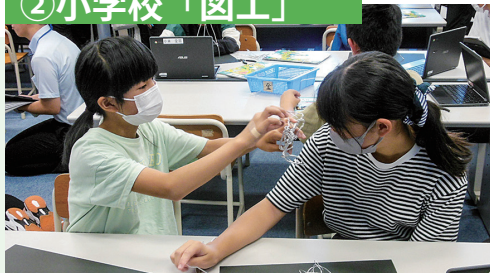


■研究テーマ

主体的に人・もの・ことと関わり、協働的に学びを深めていく授業づくり

生徒たちは数学の時間に「ジェットコースターが下り始めてから写真撮影までの時間を求める方法」について、友と協働しながら追究方法を考え合うという課題に取り組みしました。「何をXにすればよいのか」と迷っていたA生は、グループ内で意見を交流する中で、自身の疑問を解決し、最後は自分が納得する方法で自らの考えを説明することができました。B生はグループ内の仲間に考えを伝えられたことで、全体の前でも自信をもって発言しようとする姿へつながりました。友と支え合う「一人も独りにしない学び」から、生徒たちの中に自ら考え、主体的に学習に取り組む態度が、確実に芽生えてきているようです。

②小学校「図工」

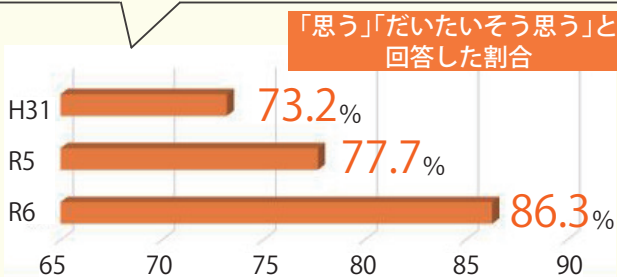


■研究テーマ

自分の思いや考えを表現し、『やってみたい』『挑戦してみたい』がにつながる授業づくり～学習環境や教材の工夫を通して～

児童たちは図工の時間に、針金を使った「美しく立つ作品」を目指し、友と協働で制作活動に取り組みしました。少し難しいテーマでしたが、ペアやグループで、「針金が浮いているようにするには、どうくっつけばいいか」など、互いに困っていることを伝え合いながら、様々な表し方に挑戦していました。個人で制作することが多い図工の授業でも、友との対話の中から自らのよさを実感したり、新たな気付きや発見が生まれたりしていました。C児は「みんなのアイデアで、自分の作品がどんどんよくなった」と、仲間と一緒に作る喜びを感じていました。

【児童生徒質問紙の回答】「全国学力・学習状況調査」より「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか？」

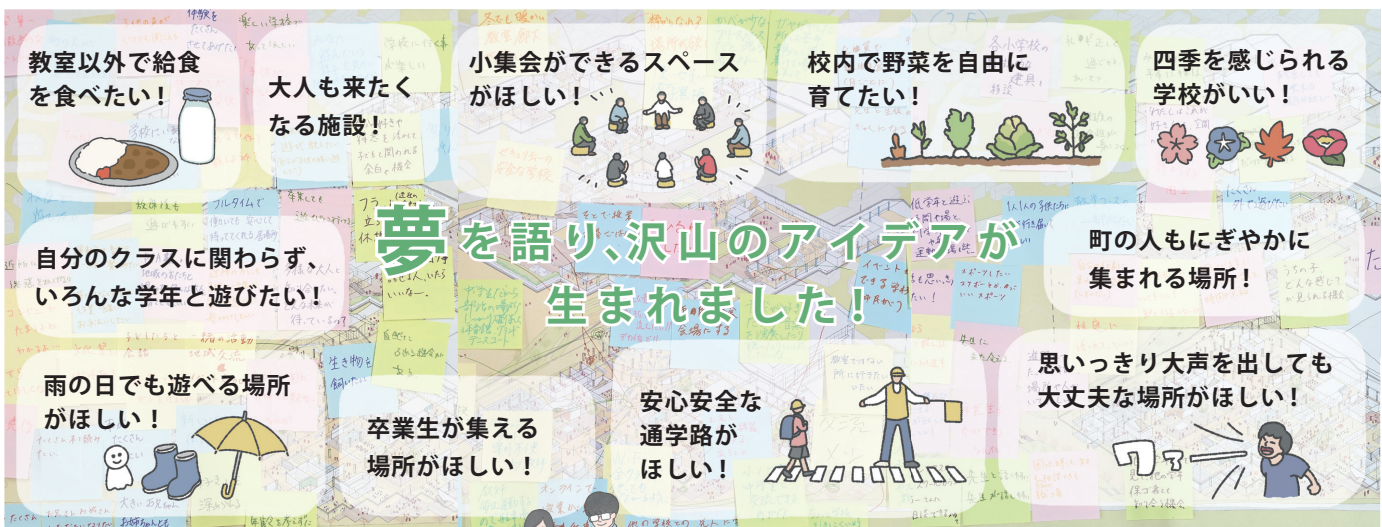


毎年4月に実施されている「全国学力・学習状況調査」では、学力以外に学習環境における、児童生徒の意識調査も行われており、質問の中には、ペアやグループでの対話や話し合い活動に関するものもあります。左図は小諸市内の同中学校の回答について、経年変化でまとめたものです。生徒自身も、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできる効果を実感していることが分かります。



11/19 (火)、小諸市役所にて開催しました！

小諸の子どもたちの新たな学びが始まる場所となる芦原新校では、「まとまりとひろがり」を大切に、学年や学級、学校をこえて“みんながつながる学校”を目指しています。参加した皆さんは、プロポーザル段階の学校イメージをもとに、グループに分かれて夢を語り合いました。今回のワークショップでは、参加者が「1年生」や「新任の先生」などの決められた立場になりきり、それぞれの視点から、小諸で実現したい学びや地域と共にある学校づくりに関わる空間、様々なアイデアなどを出し合いました。



参加した皆さんの感想

- いろいろな立場となって、その立場の目線で考えるとたくさんのアイデアが出ました。このような目線を大切に考え、これから素晴らしい学校ができることを楽しみにしています。
- 一緒に考え、何年も何十年も残していきたい学校にしたいです。
- 夢を語るといふ、経験したことのない体験ができました。
- 今1年生の我が子が、実際に通学する新校のイメージがもててよかったです。今後もこのような場で、随時発信してほしいです。



グループに分かれてアイデアを出し合いました

芦原新校市民ワークショップー新しい学校について語ろうー

現在、令和10年開校予定の芦原新校の基本設計を進めています。7月に教員向けワークショップを実施し、現在も個別ヒアリングを実施しております。今後も市民向けワークショップを実施しますので、多くの方の参加をお待ちしております。【事前申込不要】

- 第1回 11/19 (火) 19:00～20:30
第2回 1/21 (火) 19:00～20:30
第3回 3/11 (火) 19:00～20:30
第4回 5/10 (土) 14:00～15:30

【会場】

- 第1回～第3回：市役所3階 第1・2会議室
第4回：市民交流センター2階 ステラホール



▲新校イメージ
【図版提供】渡邊健介建築設計事務所・ヒサナガ